

学校交流のための活動内容例

	交流種別	活動内容
1	日本文化で交流	<ul style="list-style-type: none"> ◆伝承遊び：お手玉・だるま落とし・こま回し・福笑い・折り紙・けん玉・あやとり・すごろく・竹とんぼ・とんとんずもうなど ◆習字： <ul style="list-style-type: none"> ・習字リレー：一人一筆ずつ順番に、一つの作品を完成。 ・それぞれが思い思いの字を書き、作品を交換。 ・グループに分かれ、あらかじめ1グループで何枚か書いた作品を黒板に貼っておく。その中から自分の好きな作品を選ばせ、そのグループに入って書く。完成作品は台紙（色画用紙）に貼り、黒板に掲示後、記念に持ち帰ってもらう。 ◆合唱・合奏：海外でもよく知られている日本の歌や、相手国でも放映されている日本のアニメ主題歌等を選曲。合唱は、日本語と相手国語で。 ◆茶道・華道など（見学および体験）
2	ことばで交流	<ul style="list-style-type: none"> ◆日本のアニメキャラクター（絵を用いて） ◆動物・果物・乗り物など（絵や写真を用いて） ◆動物の鳴き声や乗り物の音 ◆じゃんけんや数字の言い方とジェスチャー、色の言い方 ◆漢字の学習（おもに中国語圏の場合）：※例は、簡体字にて記載。 <ul style="list-style-type: none"> ・絵（写真）を見て、言い方と文字を発表し合う。 ・同形異義語（例：大家=みんな、手紙=トイレットペーパー、湯=スープ など）の意味について考える。 ・外来語（例：カラOK=カラオケ、可口可乐=コココーラ、麦当劳=マクドナルド など）の意味について考える。
3	体を使って交流	<ul style="list-style-type: none"> ◆大縄跳び・縄跳び・フラフープ・卓球・一輪車・竹馬など ◆ポートボール・ミニサッカーなど ◆ミニ運動会：大玉ころがし・玉入れ・綱引きなど ◆剣道・柔道・空手・弓道など（見学および体験）
4	ゲームで交流	<ul style="list-style-type: none"> ◆フルーツバスケット・いす取りゲーム・ハンカチ落とし・だるまさんがころんだ・じゃんけん列車・あっち向いてホイなど ◆伝言ゲーム：日本語・英語・相手国語を用いて。 ◆英語による「しりとり」ゲーム：グループ毎に板書し、単語数を競い合う。 ◆じゃんけんゲーム：（例）受入校側に赤色、訪問校側に青色のカードを配り、じゃんけんで勝った方がカードをもらい、枚数を競い合う。 ◆質問ゲーム：学校生活（勉強・宿題・休みに関すること等）、年中行事や習慣・流行、相手国と日本の地理・歴史等について質問する。 ◆紙ヒコーキゲーム：紙ヒコーキを折ってから、全員でその飛行距離を競い合う。
5	ものづくりで交流	<ul style="list-style-type: none"> ◆変わり絵・飛び出す絵・紙こま・びよんびよんかえる・びっくりロケット・だまし舟・紙てっぽう・キャンディーボックスなど ◆美術・家庭（調理実習）など

※それぞれ通訳を介し、ルールや方法等について説明する必要がある。手づくりの名刺交換もよい。